

無責任エッセー

旅のハジの書き捨て

福崎かずたろう

時計の針は四時を指そうとしていた。あまりゆっくりは出来ないのである。ここは広島で、今日中に普通列車のみで大阪まで帰らなくてはならないのである（というのも、切符が一日だけ普通列車のり放題という特殊な切符であるためだ）。ここらもち急いで原爆ドーム前の市電乗り場に向かった。が、なかなか電車が来ない。10分近く待ってようやく乗ったが、これがまた市内で混む混む。車内も混むが道路も混む。電車が前に進まない。ようやく広島駅に着いたときは、岡山行きの発車2分前というあわただしさ。改札通って地下降りて3番線へ走って電車に飛び乗ったら、即発車である。

あせって走って駆け込んで、おかげですっかり喉が乾いてしまった。水分の補給を行いたいところだが、すでに車中の人である。次の大きな駅まで「おあづけ」か。これは汽車旅の辛いところだなあ。

広島の人々はどういうわけか4人席のBOXを3人＋荷物で占領するのが風習のようで、座席は空いているのに座れない。で、席を求めてどんどん前方を極めていくと、なんと先頭車両にはジュースの自販機が置いてあるではあーりませんか。地獄に仏である。

で、今は「瀬野」というあたりだが、ようやく座れた。3人＋荷物のフォーメーションの一角が崩れたので、座ったわけだが、残りの2人＋荷物というのが、母親と娘（5歳くらいか）で、おもちゃの入った大きな紙袋が荷物である。

「あのね、もう立っている人はいないからいいけどね、荷物くらい荷棚に上げたら……」と、そういうことに全く無関心そうな若い母親に注意しようかと思ったら、次の駅でそそくさと降りてしまった。なぜか私だけにプラスチックが溜まるという結果になってしまったのだった。

ただ今三原を過ぎたところである。また車内は混みだした。ドアの近くに女の子が立っている。白地に青い縞模様の男物のパジャマみたいなシャツに、Gパンスタイルだ。これと同じスタイルの女性を今日だけで4度見かけている（私はこういった簡素な服装が、清潔感があって好きなので、覚えているのだ）。まさか同一人物ではあるまい。しかし同じ様な格好の人間がウヨウヨしているというのも、なんか気味が悪いなあ。雑誌かなんかに載っている流行なのだろうか。

同じ様な人間が同じ様な格好をする。けっきょく雑誌に数多く出ているサンプル

ルの形なり色なりというのは、着る側を選択するということなのだろう。先のパジャマにGパンススタイルなら、なで肩で足の細いスリムな体型の女性を選択している。選択された女性は被選択の悦びを持って堂々と街に繰り出す。グラマーな女性はグラマーなりのサンプルどおりに、丸い顔の女性は丸い顔のサンプル通りに、背の低い女性は背の低いサンプル……とまあこんな感じで街に同じ様な人があふれるのだろうか。

同じ様な人があふれているということは、同じ様な価値観が彼らに流れているということだ。そうでなければ、たとえ雑誌に載っていようが、そこで取捨が行われるはずだから。日本人は自分より他人の価値観で動くというが、たかが雑誌ぶぜいに〔価値観の統一〕をおこなわれてしまっているのかしらん？とも思うけどなあ。

(↑ この段の話は原稿を打つときに 原文に少し書き加えをしました)

三原・尾道・福山と中程度の街が連続して、寂れることがない。さすが太平洋ベルト地帯だ。ここら辺の客は、ドバァーと乗ってきて次の街でドバァーと降りていく。回転が速い。私の体を数知れないおばさんが通り過ぎていく。などと書くちょっとヒワイだが、単に前の席の主が変わるというだけであるぞよ。ちなみに、たまにはおじさんも通り過ぎていくのだ。げろげろ。

最近なんかナゲヤリだなあ…。

第六回 終わり